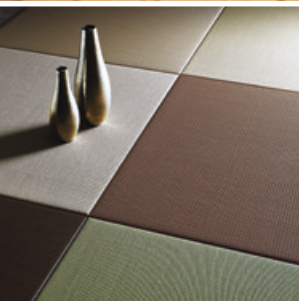




# D.REPORT

第99期年次報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



取締役社長  
億田 正則

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第99期連結会計年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）における当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、株価の上昇など緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、弱い動きもみられるなど、景気の見通しに不透明さが残る環境となりました。

住宅市場におきましては、相続税対策等により賃貸住宅は比較的好調を維持しているものの、新築戸建住宅では反動減の影響が長引き、平成26年度の新設住宅着工戸数が88万戸と前年度に比べ10.8%減少するなど、厳しい状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、新設住宅着工に依存しない経営体質にするため、中期経営計画で拡大4市場と位置づけているリフォーム市場、海外市場、産業資材分野及びエンジニアリング市場の攻略を進めるとともに、国内の公共・商業建築（非住宅建築）分野の市場開拓を目的とした組織を新たに設置し、提案活動を強化いたしました。拡大4市場においては、TOTO(株)、YKK AP(株)と共同で運営するTDY福岡コラボレーションショールームを昨年6月にオープンするなど、リフォーム市場におけるエンドユーザーへの提案の場を拡げました。また、MDFなどのエコ素材の用途展開・新規採用先の開拓を進め、産業資材分野及び海外市場での拡販に努めました。

上記の拡大施策に加え、比較的好調な賃貸住宅市場等において販売の拡大に努めましたが、新築戸建住宅市場の消費税増税による反動減に加え、堅調と思われたリフォーム市場でも反動減の影響が想定よりも大きく、苦戦を強いられました。また、利益面においても、原材料コストの上昇に対して、各種合理化や売価への転嫁を進めましたが、その全てを吸収するには至りませんでした。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,688億33

百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益34億52百万円（前年同期比3.5%減）、経常利益46億48百万円（前年同期比7.5%減）、当期純利益27億36百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

今後につきましては、金融資本市場の変動や世界景気の下振れ、為替の変動等による原材料コストの高騰に注意が必要であります。

住宅市場においては、資材価格・工事費等の先高観や各種政府の住宅取得・リフォーム等の支援策による消費者マインドの向上により、緩やかな回復が見込まれることが予想されます。

そのような環境のもと、当社グループにおきましては、さらなる合理化に加え、輸入品を中心とした原材料コストの上昇に対して国産木材の活用推進などで抑制を図るとともに、その一部の売価への転嫁も進め、利益の確保に努めます。

また、当社グループは、本年度策定した長期ビジョン『GP（グロウプラン）25』をもとに、従来の取り組みや考え方から大転換を図り、新設住宅着工に左右されない事業構造の構築を進めてまいります。

そして、日本国内における『住宅用建材のメーカー』という企業像から、建材だけでなく、建材に使用する素材の供給から建材の施工・工事までを手掛け、また、住宅だけでなく、公共・商業建築分野、産業資材分野まで幅広く展開し、さらに、国内だけでなく、海外に展開する『建築資材の総合企業』を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## DAIKENテクノロジー 未来を照らしだす技術と先進性

DAIKENが見つめてきたのは、いつも時代の少し先だった。原点は「木」。創業の地、富山県・利賀村の豊富な森林資源。戦争が終わり、求められたのは「強さ」だった。「木」を活かし、耐久性・耐水性を技術力で乗り越えた「特殊合板」。これが、技術の大建へ端緒を開くこととなった。以来、「木質繊維板」「鈹物質繊維板」「火山性ガラス質複層板」「中質繊維板」とニーズを敏感にキャッチした開発は進んだ。

一方、暮らしを快適へと導く製品も時代の先を見つめていた。木材にプラスチックの強さを加えた「WPC」をはじめ、「和紙畳」「音響製品」「ドア」「システム収納」「コーディネーター」と、常に快適の一步先を切り拓いてきた。

素材開発と製品開発。この技術の両輪を時代に合わせて駆動させるDAIKENは、これからも住まいへ、都市へ、街へ、新しい価値を提案していく。



## 売上構成比

## 取扱商品

## 業績の概要



### 住空間事業

50.8%



▲北陸新幹線富山駅に採用された富山県産スギ不燃パネル



▲広い開口幅を確保し、車いすの利用や介助を楽にする「ひきドア」

### 売上高

857億53百万円  
8.3%減

### 経常利益

28億58百万円  
46.2%減

住空間事業につきましては、新設住宅着工戸数の減少の影響を大きく受けましたが、比較的好調な賃貸住宅市場、近年攻略に向け取り組んでいる高齢者住宅・施設市場での売上拡大に努めました。賃貸住宅市場においては、階下や隣室への音に関する市場ニーズの高まりから防音を切り口とした製品の採用が増え、売上を伸ばしました。ドアについては、新シリーズの投入などにより同市場におけるシェアを拡大しました。また、公共・商業建築分野における市場開拓・商品開発に力を入れ、富山県産スギを活用した不燃壁材が北陸新幹線富山駅に採用され、また、当社独自のWPC加工技術を活かした国産木材フローリングが東京都港区の公共施設に採用されるなど、政府が推進している国産木材の利用促進に貢献するとともに、同分野での実績づくりを推進しました。一方、利益面におきましては、原材料コストの上昇が大きく影響し、各種合理化や売価への転嫁を進めましたが、その全てを吸収するには至りませんでした。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高857億53百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益28億58百万円（前年同期比46.2%減）となりました。



### エコ事業

33.0%



▲床用基材としての需要増加や合板代替材料としての採用が進むMDF



▲インテリア畳「ZIPANG（ジパング）こち和座」

### 売上高

556億99百万円  
7.5%減

### 経常利益

15億5百万円  
前年同期は5億44百万円の経常損失

エコ事業につきましては、MDFにおいて、新設住宅着工戸数の減少に伴う需要減はあったものの、床用MDFの採用増により前年並みの売上を維持しました。また、公共・商業施設を対象に、省施工・短工期で天井の耐震化が可能な、独自の新耐震天井工法「ダイケンハイブリッド天井」を開発し、提案を開始いたしました。畳おもてにおいては、生産・販売体制の強化により当社シェアが順調に拡大していることに加え、専門の畳加工技術なしで設置できるインテリア畳「ZIPANGこち和座」を新たに発売し、住環境における畳市場の活性化を図りました。なお、前連結会計年度の一部製品の不具合による補修費用の計上が当連結会計年度はなくなりましたため、収益面では改善しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高556億99百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益15億5百万円（前年同期は経常損失5億44百万円）となりました。



### エンジニアリング事業

9.8%



▲オフィスビル施工例



### 売上高

164億86百万円  
6.9%減

### 経常利益

2億85百万円  
5.7%減

エンジニアリング事業につきましては、公共・商業建築分野及びマンション市場を中心とした内装工事において、重点エリアとして取り組んでいる首都圏で受注を拡大することができましたが、リフォーム市場を中心とした工事において、消費税増税による反動減の影響を受けました。一方、収益面では、技能工不足等による原価高騰に対して、技能工の確保及び現場ごとの管理体制を強化し、利益の確保に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高164億86百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益2億85百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

※ 上記の他、その他の事業が6.4%あります。

## 1 「TDY福岡コラボレーションショールーム」オープン 九州初、全国4箇所目のコラボレーションショールームに!

2014年6月21日、DAIKEN福岡ショールームが、TOTO(株)、YKK AP(株)に加わる形で、全国4箇所目となるTDYコラボレーションショールームとしてリニューアルオープンしました。

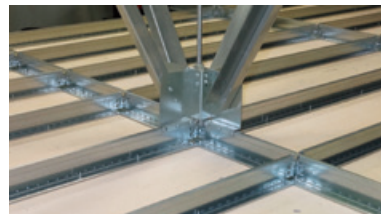
女性が“わたしらしく過ごせる部屋”をテーマにしたLDKや“おとなの男のこだわりの部屋”をテーマにした防音室などの空間展示に加え、充実した品揃えのドア、床材等でコーディネートを確認できるコーナーなどを設けています。



## 2 「ダイケンハイブリッド天井」の提案開始 省施工・短工期で天井耐震化を可能に!



東日本大震災で公共施設等のつり天井崩落被害が多数発生したことを受け、建築基準法施工令の一部が改正されるなど、天井耐震化の必要性が高まっています。また、復興事業や東京オリンピック特需などによる建設作業者の不足も大きな課題となっています。当社が独自に開発した新耐震天井工法「ダイケンハイブリッド天井」は、強固にかみ合わせた格子状の天井下地に仕上げ材を直張りする工法で、一般的な在来工法で耐震化する場合に必要な補強金具の取り付けやビス止め作業が不要になるため、約20~30%の施工手間を削減しつつ、高い耐震性能を確保することが可能です。また、石膏ボードに比べ軽量で、かつ、吸音性能を併せ持つロックウール吸音板「ダイロートン」を仕上げ材として使用することにより、天井全体の軽量化による必要部材の削減や快適な音環境の確保にも寄与します。



注目の新製品(2014年11月)

## リモデル用床暖房仕上げ材「サーモプラス」を発売 低コスト・短工期で床暖房のリフォームを実現!



Before



After

一般的に床暖房をリフォームする場合、表面の床材だけを交換する工事は難しく、床暖房一式を交換する必要があることから、費用や工事期間の問題でリフォームをあきらめるケースが見受けられました。リモデル用床暖房仕上げ材「サーモプラス」は、一般的な上貼り用床材にない優れた熱伝導率により、既存の床暖房に上貼りするだけで、リフォーム前とほぼ同等の床暖房性能を維持することが可能です。低コスト・短工期での床暖房リフォームにお役立ていただけます。

注目の新製品(2015年2月)

## 「フィットシェルフ」全国販売開始 スペースと暮らしにフィットする 自分だけの大容量棚型収納

「フィットシェルフ」は、棚板とそれを支える方立(垂直方向板材)を組み合わせたシンプルな構成の棚型システム収納です。棚板の長さとお好みの高さ(ほうだて)をお好みの位置に設計し、必要なユニットを組み合わせることができるため、空いたスペースにぴったりと収まり、住む人の暮らしにぴったりフィットする自由度の高さが特長です。また、シンプルな構成のため、省スペース・短時間での施工が可能で、リフォームでのご利用にも最適です。





# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## ▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	当連結会計年度 平成27年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	75,652	70,931
固定資産	60,139	64,592
有形固定資産	38,451	38,565
無形固定資産	2,345	2,378
投資その他の資産	19,342	23,648
繰延資産	99	72
資産合計	135,890	135,596

科目	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	当連結会計年度 平成27年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	64,978	67,286
固定負債	29,492	23,325
負債合計	94,471	90,611
<b>純資産の部</b>		
株主資本	35,499	36,177
その他の包括利益累計額	1,655	4,396
少数株主持分	4,264	4,410
純資産合計	41,419	44,984
負債純資産合計	135,890	135,596

## ▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	180,392	168,833
売上原価	137,693	131,657
売上総利益	42,699	37,175
販売費及び一般管理費	39,121	33,722
営業利益	3,577	3,452
営業外収益	2,193	1,911
営業外費用	745	716
経常利益	5,025	4,648
特別利益	106	1,016
特別損失	514	4,291
税金等調整前当期純利益	4,617	1,373
法人税等合計	1,699	△1,645
少数株主損益調整前当期純利益	2,917	3,018
少数株主利益	371	281
当期純利益	2,546	2,736

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

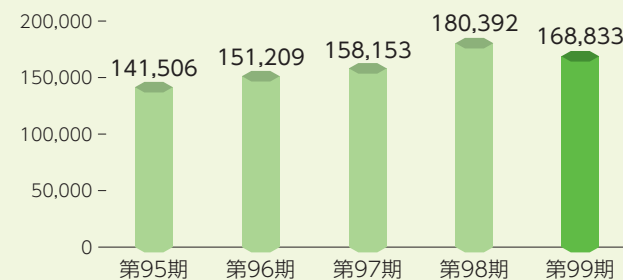
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	9,663	9,299
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,168	△4,072
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,054	△2,635
現金及び現金同等物に係る 換算差額	60	74
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,500	2,665
現金及び現金同等物の 期首残高	10,596	14,096
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	12
現金及び現金同等物の 期末残高	14,096	16,774

## ▶ 連結業績の推移

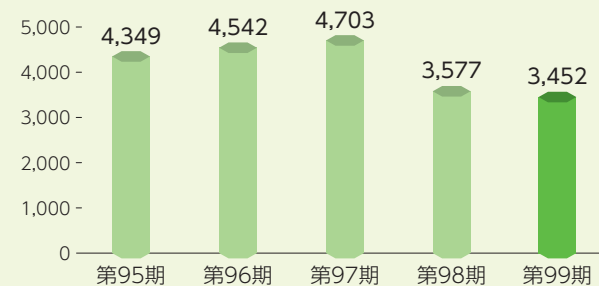
### 売上高

(百万円)



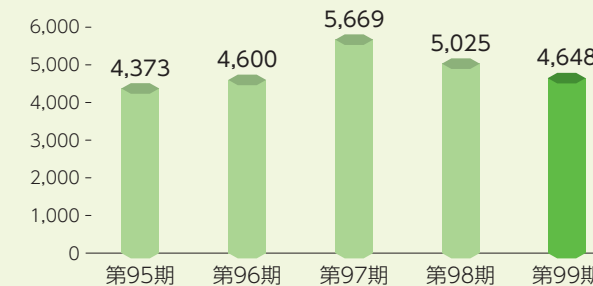
### 営業利益

(百万円)



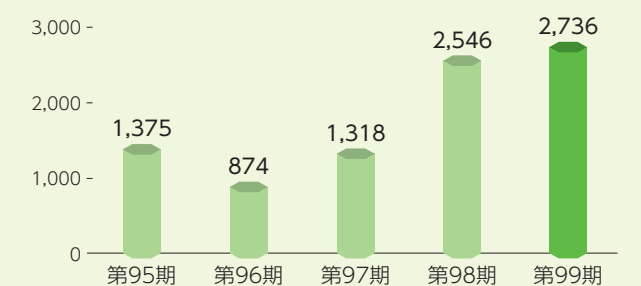
### 経常利益

(百万円)



### 当期純利益

(百万円)



▶ 会社の概要 (平成27年6月26日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日  
 資本金 131億5,003万9,080円  
 本社及び事業所  
 本店 富山県南砺市井波1番地1  
 本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号  
 東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号  
 主要な営業所 札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡、シンガポール  
 生産工場 井波工場 (富山県南砺市)  
 岡山工場 (岡山市南区)  
 高萩工場 (茨城県高萩市)  
 三重工場 (三重県津市)  
 連結子会社 株式会社ダイフィット (鳥取県倉吉市)  
 株式会社ダイウッド (三重県伊賀市)  
 セトウチ化工株式会社 (岡山市南区)  
 富山住機株式会社 (富山県砺波市)  
 大建工業(寧波)有限公司 (中国 浙江省)  
 大建阿美呢体(上海)商貿有限公司 (中国 上海市)  
 株式会社ダイタック (岡山市南区)  
 会津大建加工株式会社 (福島県会津若松市)  
 DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (ニュージーランド ランギオラ市)  
 DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. (マレーシア サラワク州)  
 DAIKEN MIRI SDN.BHD. (マレーシア サラワク州)  
 C&H株式会社 (大阪府岸和田市)  
 エコテクノ株式会社 (東京都千代田区)  
 ダイケンエンジニアリング株式会社 (大阪市北区)  
 鉦工業株式会社 (東京都千代田区)  
 三恵株式会社 (大阪府東大阪市)  
 ダイケンホーム&サービス株式会社 (大阪市北区)  
 株式会社スマイルアップ (大阪市北区)  
 ダイケン物流株式会社 (大阪市北区)

▶ 役員 (平成27年6月26日現在)

取締役	
代表取締役会長	澤木良次
代表取締役社長	億田正則
代表取締役社長	金坂和正
代表取締役副社長	金坂和正
取締役	渋谷達夫
取締役	加藤智明
取締役	照林尚志
取締役	鈴木木憲
取締役	相原隆児
取締役	水野浩
監査役	
常勤監査役	今村喜久雄
常勤監査役	島田睦博
社外監査役	蓮沼彰夫
社外監査役	井上雅文
執行役員	
執行役員社長	億田正則
執行役員副社長	金坂和正
常務執行役員	渋谷達夫
常務執行役員	加藤智明
常務執行役員	冬木敏夫
常務執行役員	畑島正志
常務執行役員	照林尚志
常務執行役員	北川隆雄
常務執行役員	吉田弥寿郎
常務執行役員	長谷川賢司
執行役員	布施茂人
執行役員	佐藤憲一
執行役員	頓花修二
執行役員	吉田和雅
執行役員	児野玉淳
執行役員	野村孝伸
執行役員	成田彦一郎

▶ 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

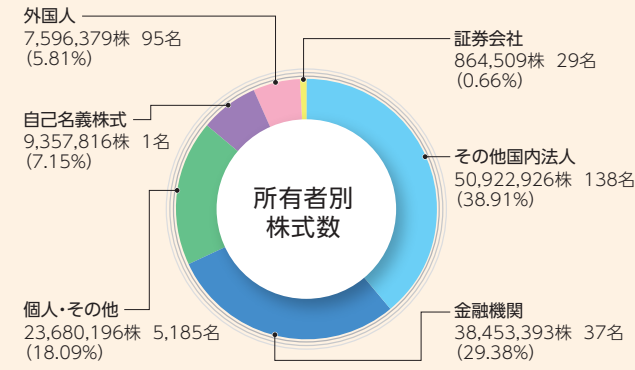
発行可能株式総数 ..... 398,218,000株  
 発行済株式の総数 ..... 130,875,219株  
 株主数 ..... 5,485名

▶ 大株主の状況 (平成27年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	31,948,000	26.3
株式会社三井住友銀行	4,934,903	4.1
住友生命保険相互会社	4,656,000	3.8
三井住友信託銀行株式会社	4,440,000	3.7
大建工業取引先持株会	3,372,000	2.8
住友林業株式会社	3,191,000	2.6
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	3,133,000	2.6
丸紅株式会社	2,821,942	2.3
日本生命保険相互会社	2,728,346	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	2,608,000	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式を9,357,816株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 株式分布状況 (平成27年3月31日現在)



[お知らせ]  
 平成27年6月5日付で会社法第178条の規定に基づき自己株式5,000,000株を消却し、発行済株式の総数が同数減少しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業 検索

TOPページ「会社情報」をクリックしてください。

「会社情報」の「株主・投資家の皆様へ」をクリックしてください。

情報サイトの一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、招集通知などのIRイベント情報など、豊富なデータをご覧いただけます。

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月開催

**基準日**

定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日

**株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人  
事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(郵便物送付先)** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** ☎ 0120-782-031

(インターネットページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

**【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】**  
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**公告の方法** 電子公告(当社のホームページに掲載する)  
<<http://www.daiken.jp/>>

**上場金融商品取引所** 東京証券取引所



DAIKEN

<http://www.daiken.jp/>

大建工業株式会社